

境南小学校 開かれた学校づくり協議会だより vol.1

令和5年度「境南小学校 開かれた学校づくり協議会」がスタートしました！！

♪ 12名の委員さんたちを紹介します ♪



<後列 左から>

鈴木一行委員 菊池和恵委員 谷古裕子委員 島倉絵里加委員 小川恵美委員 澤木宗人委員 鈴木聡委員
(境南サッカークラブ会長) (境南保育園園長) (境南地域社協会会長) (PTA会長) (地域子ども館館長)(青少協境南地区委員長)(東京学芸大学副学長)

<前列 左から>

片山(事務局) 古田順子委員 南亮太郎副会長 見木久夫会長 杉谷努委員 大矢照男委員
(地域コーディネーター) (地域商店マイスタームラカミ) (武蔵境活性化委員会委員長)(境南小学校校長) (地域防災懇談会会長)

境南小学校がモデル校に！

武蔵野市では、令和3年10月から「学校・家庭・地域の協働体制検討委員会」を設置して、「未来を担う子どもたちのために」という理念を前提として、テーマを『「学校運営」に関する協働体制について』に絞って検討されてきました。そして、令和4年12月に提出された「学校・家庭・地域の協働体制検討委員会報告書」では、現行の「開かれた学校づくり協議会」の仕組みを活用し、学校運営協議会機能を取り入れて互いのベクトルを合わせる場として強化する方向性が見出されました。

そこで、武蔵野市教育委員会は、令和5年4月より2年間、学校運営協議会の機能を有する「開かれた学校づくり協議会」のモデル校を、市立境南小学校と第一中学校に設置しました。

【学校運営協議会の3つの機能】

① 学校運営の基本方針を承認する。

・委員である校長は、自身の作成する学校運営の基本方針を委員に丁寧に説明し、「ともに子どもを育てる」思いの共有を図ります。モデル校では、議論や合意形成を経て、学校運営の基本方針を承認します。

② 学校運営に関する意見を述べる。

・学校は学校運営の状況、子どもたちの様子や教育活動について情報提供や説明をします。委員は、学校の基本方針を実現するために課題解決や改善に向けた建設的な議論をします。

③ 教員任用(学校に必要な人材像)に関する意見を述べる。

・委員は、職員構成、経験、得意分野や専門性など、その学校の特色にあった人材像に対して希望する意見を述べることができます。

今までの協議会とは 何が違うのでしょうか？

これまでの開かれた学校づくり協議会は、学校評議員であり、校長に意見を述べる仕組みでした。これからは、学校運営のパートナーとなり、校長を含めた委員の合議制による協議を行うようになります。保護者や地域住民の当事者意識が醸成され、責任をもって教育に携わるようになり、より学校・家庭・地域の一体性が高まります。

第1回協議会(令和5年5月1日)

杉谷校長より学校運営の基本方針の説明があり、その後「行くのが楽しい学校ってどんな学校？」というテーマで熟議を行いました。「まず先生が元気で楽しそうにしている学校！」「ワクワクできる学校！」「友達がいて安心できる学校！」など、様々な意見が出され、次に、そのような学校にするために、協議会として、また保護者、地域のおとなとして何ができるかを話し合いました。

熟議では、委員のみなさんのこれまでの経験・個性が反映され、とても活発で、かつ和やかな雰囲気が進みました。



第2回協議会(令和5年6月19日)

前回の「行きたくなる学校ってどんな学校？」というテーマで事前に子どもたちにアンケートをとりました。

「休み時間が長い/先生が優しい/みんなが仲良くできる、けんかがない/授業が楽しい、おもしろい/いじめや暴力がない/先生がおもしろい/友達がたくさんできる/給食がおいしい/図書・体育・図工・音楽の時間がたくさんある」などが多数意見で、中には「ゲームができる/有名人が授業をしてくれる/畑があり動物がたくさんいる/自由に授業が選べる」などの意見もありました。

このアンケート結果から「体験させてあげられること」「先生の代わりにできること」「子どもの心に寄り添う」など、地域の基盤づくりとして、まず「できることからやってみよう！」との意見が飛び交いました。

第3回協議会(令和5年7月24日)

最初に、境南フェスティバル(令和6年2月16・17日)の計画案について、小林先生から説明がありました。

次に、今回は先生方へ「地域にどのような協力してほしいか？」の事前アンケートをとっていたので、その結果の検討を行いました。「校外学習の引率、登下校の見守り」や「出前授業」など、地域の人たちにもっと学校に入ってきてほしいという思いを知ることができ、今後、地域ができることは何か？など、活発な意見交換が行われました。

最後に、今後の教員公募にむけて、どのような先生に来てほしいか？について話し合いました。子どもアンケート結果も踏まえて「明るくておもしろい人、子どもと一緒に遊んでくれる人」や、「授業・教材研究の時間をしっかり作り、学びの喜びを伝えられる人」との意見もできました。